

教科(科目)	単位数	指導学年	教科書名	副教材名等
芸術(総合美術)	3	3	なし	なし

## 芸術科

## 芸術(総合美術)

## 1. 学習目標

美術の創造的な諸活動を通して、美的体験を豊かにし、生涯にわたり美術を愛好する心情と美術文化を尊重する態度を育てるとともに、感性と美意識を磨き、個性豊かな美術の能力を高める。

## 2. 授業の進め方や学習方法

毎單元ごとに、目標やねらい、取り組み方法等の説明をします。与えられた課題を、自己の表現で試行錯誤しながら、計画的に取り組んでいきます。美術の学習で身に付けた創造的な表現と鑑賞の力をさらに伸ばすことを目標にしています。学習活動の成果は作品や課題レポートに表れますが、結果だけ重視するのではなく、表現や鑑賞の過程での振り返りを大切に、自分なりの思いや考えをもって活動に臨んでください。わからないことや悩んでいること等は机間巡視の際に質問してください。問題解決のためのアドバイスをします。もちろん、提出期限にはしっかり守り仕上げましょう。

## 3. 評価(定期考査:25% 作品60% 提出物・授業態度・発表等 15%)

(下記の4つの観点から評価した1・2・3学期の成績を統合し、年間の学習成績とします。)

① 美術への関心・意欲・態度	美術の創造活動の喜びを味わい、美術や美術文化に関心を持ち、美術文化を尊重し、主体的に個性豊かな表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとしているか。
② 発想や構想の能力	感性や創造力を働かせて、独創的な主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。
③ 創造的な技能	創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、主題にあった表現方法を工夫し、個性を生かして創造的に表している。
④ 鑑賞の能力	美術作品などの表現の工夫や国際理解に果たす美術の役割、美術文化などの理解を一層深め、自己の価値観を働かせて、その良さや美しさを創造的に味わっている。

評価方法・観点	①	②	③	④	
学習状況観察	◎	○	○	○	授業時に実施
活動記録表	◎	—	—	○	自己評価を含む
課題レポート	○	○		◎	ワークシートを含む
作品	○	◎	◎	—	表現題材の成果として

## 4. その他(履修上の留意点等)

美術は、表現することから始まります。まず、表現意欲を持つことです。次に、造る喜びを味わい楽しむ。これらの態度を持つことが大切になります。また、美術に限らず様々な分野の「表現されたもの」に関心を持つことです。そうして、創造に関わることで発想力や情操を育てていきましょう。

※作品制作等の活動が授業時に終わらない場合、可能な限り放課後も美術教室を利用できるようにします。納得のいくまで試行錯誤してください。

5. 授業計画

学期	月	題 材	学 習 内 容	留 意 点 等
1 学 期	4	オリエンテーション	・美術Ⅲの学習についてのあらまし、自己紹介	・美術の授業の取り組みや約束を確認する。
	5 6	○表現絵画「身近なものを描こう	①身近なものを見つめ直し、よさや美しさに気づき、感じ取ったことや考えたことを基に構想を練り、配置や構図を工夫して表現する。	表現材料としての絵具に関心を持ち、その成り立ちや性質、表現効果などについて意欲的に理解し自分の表現に生かす。
	7	○鑑賞絵画 絵画の魅力を考える	②作者の視点に着目して、絵画を魅力的にしているものは何かを表現の意図や工夫を読み取りながら鑑賞し、表現につなげる。	・視点の位置や遠近法、構図に十分工夫し、奥行きのある空間表現について学ぶ。 ・普段見過ごしているような場所にも思わぬ発見があることを理解させ、楽しく表現する意欲と態度を養う。
2 学 期	9 10	○絵画 (読書感想画)	①未完成の部分を完成させる	・読後の感想を絵で表現する。
	11	○彫刻	① イメージを表現する意味を考える。 ② 形の構想 ③ 素材よる成型 ④ 作品の相互鑑賞	・イメージを湧出させて主題を生成するとともに、量感や材質感などの造形要素の働きを理解し、立体造形の表現技能を高める。
	12	鑑賞 デザイン	①「デザインの世界」 デザインの広がりを考える	幅広いデザインの世界や役割を理解し、デザインとは何か、デザインするときに大切なことは何かを考えながら鑑賞し、表現につなげる。
3 学 期	1	○私の好きな美術作品	①鑑賞文作成 ②対象作品の選定 ③作品に関する調べ学習 課題レポートの作成	・美術作品の鑑賞を通して作者の心情や意図、表現の工夫などを理解し、よさの美しさを味わいます。
	2	○鑑賞 ・1年間の反省	・授業をふりかえる	・次年度への課題を考える。